

2/17

つながった! ひろがった!

つながりひろがる 地域づくり事業発表会

市民活動事業を支援するために、市が本年度新設した「つながりひろがる地域づくり事業」の発表会を2月17日、堀金総合体育館で開催しました。この補助金の交付を受けた57団体の活動報告書が配布されたほか、30団体がステージ発表を行いました。その一部を紹介します。

当日は約200人が来場



世界広げる パソコン講習

補助額 9万8,000円

あづみの音声パソコン教室
「にこにこ」

視覚障がい者の支援ソフトを入れた音声パソコン操作の講習会を三郷地域内で毎月2回開催。

自宅に閉じこもりがちになる場合もある視覚障がい者が、Eメールやインターネットを覚えることで、多くの情報入手することや、また、仲間を増やすこと、世界を広げていくことが期待できます。

今回の補助事業では、パソコンの購入などIT環境の整備や学習会の費用の一部に当て、取り組みが強化されました。

受講者はパソコン操作方法を覚えただけでなく、教室終了後の交流会がふれあいの場となり、皆が生き生きと過ごせる場となっています。



ホテル舞う 田園風景を

補助額 7万3,000円

岩原山麓ホテルの会

堀金・岩原区で「ホテルの里づくり」を行いました。活動は住民の有志が集まり、地域にホテルの明かりをよみがえらせることを目標に、17年から活動開始しました。

4月は、ホテルが生息している自然水路の土砂の整理、周辺の草刈り、枝打ちなどを行ったほか、補助金を活用して、ホテルの幼虫と、その餌となるカワニナを放流しました。そして、6月から7月にかけて、放流幼虫76匹中、19匹の成虫ホテルを確認しました。しかし、安定した生息状況になるまでには時間がかかるため、今後、継続的にホテルの発生数が確認できるかが注目されます。



放課後などに 「遊び場」提供

補助額 10万円

あそばせ隊

子どもたちの下校時間が早い毎週水曜日を中心に、さまざまな年代の子どもが自由に遊べる場を確保し、自主的に運営する活動。

穂高有明の新屋公民館を中心に活動し、「遊び」を通じて、また、地域の人との交流を通じて、子どもたちの健全な育成を目指し、活動しています。

子どもたちは、ボールや遊具で遊んだり、室内のミニ図書館で読書や宿題をして過ごしています。また、この補助金を活用し、子ども祭りや郷土料理などのイベントを開催しました。小さな子や中学生、父親、地域住民の参加があり、遊びの幅をさらに広げることができました。



世代を超え 郷土料理の伝承

補助額 8万円

安曇野流すてきな暮らし
実行委員会

郷土料理や地元の食材を使った料理講習会。豊科高家の真々部公民館を中心に活動しています。

今年度は全10回の講習を行い、特別企画として、桜坂公民館と穂高中央児童館で、出前講座も行いました。講習を通じて、世代間交流、そして、市民間交流の輪が広がりました。2月には小県郡長和町のサークルとの交流に発展し、市を超えた交流も実現しました。

また、郷土料理・地産地消の食育講座として、参加者の子育て支援の一端を担うことができました。



JR廃線敷に 遊歩道など整備

補助額 3万8,000円

ケヤキの道

地元住民が主体となり、明科・潮沢区のJR廃線敷を、憩いの場として有効利用できるように整備を進めています。

この廃線敷は、当初は不法投棄があったり、脇の側溝には枯れ葉がつまり、土砂災害が発生するといった状況でした。しかし、地元住民が中心となった整備が進み、全長10^{キロ}のうち約4^{キロ}が遊歩道となりました。また、ケヤキ林やマレットゴルフ場なども整備され、「けやきの森公園」として活用しています。

今回の補助事業では、バックホーなどの重機を借り上げ、遊歩道を長くするための整備工事を行いました。

最近では、地元住民だけでなく、他地区の市民、都市圏からの観光客も訪れ、交流の輪が広がっています。

特集◎年度末イベントレポート



募集は4月を予定しています。

を継続します。

市では来年度もこの補助事業

を継続します。

を継続します。

を継続します。

を継続します。

を継続します。

を継続します。

を継続します。

会場内ではパネル展示も行われた